

## 平成 29 年 11 月 岡崎市文化財保護審議会会議録

開催日時：平成 29 年 11 月 17 日（月） 午後 2 時 00 分～午後 5 時 30 分

開催場所：岡崎市福祉会館 3 階研修室 3 0 2

出席委員：10 名

加藤安信委員（会長）・野本欽也委員（会長職務代理者）・内田尚之委員・  
荻野嘉美委員・奥田敏春委員・小林吉光委員・杉坂美典委員・鷹巣純委員・  
山田伸子委員・渡邊幹男委員

説明のために出席した事務局職員：6 名

社会教育課：小野鋼二課長・荻野泰久副課長・小幡早苗主任主査・  
岸本諭主事・浅井幸恵主事・中根綾香主事

傍聴者：なし

### 議事内容

- 1 諮問事項
  - (1) 市指定天然記念物桜井寺のシロバイ自生地指定について
  - (2) 市指定天然記念物山中八幡宮のヒメハルゼミ生息地の現状変更について
- 2 協議事項
  - (1) 史跡範囲の追加指定について
- 3 報告事項
  - (1) 市指定史跡岡崎城跡・市指定天然記念物五万石ふじへの看板設置について（岡崎城跡に係るサイン・案内板について）
  - (2) 岡崎城跡月見櫓の発掘調査について
  - (3) 岡崎城総構え発掘調査（中央緑道・豊川信用金庫跡地）の発掘調査について
- 4 その他

### 議題及び議事の要旨

- 1 諮問事項
  - (1) 桜井寺のシロバイ自生地の市指定天然記念物指定について【非公開】
  - (2) 市指定天然記念物山中八幡宮のヒメハルゼミ生息地の現状変更について【社会教育課説明】

特別高圧送電設備の保全として実施するもの。1 回目の協議時は、人力による芯止め・枝打ちの予定であり、天然記念物にとって重要な原生のシイ・カシについて一部枝葉が残らず立ち枯れてしまう木が出てくる可能性があったが、高所作業車を使うように作業方法を変更し、高所作業車の通路確保のための伐採が追加されたものの、離隔確保上問題のある木のみを選んで芯止め・枝打ちができるようになった。また、作業範囲を見直し、縮小したため、天然記念物に与える影響は1 回目の協議時の内容よりも小さく抑えられる見込みである。また、高所作業車の通行にあたっては、樹脂製マットで養生し、林床の保護を行うようにした。さらに、実施時期として、常緑樹の剪定に向く 4～6 月に行い、ヒメハルゼミが地上に出てくる 7 月より前に完了させるようにすることで影響をより小さくするよう努める。

### 【質疑応答】

委員：最初は一部が立ち枯れる可能性があるということで非常に心配だったが、高所作業車を使うことで、立ち枯れの可能性が非常に小さくなったのはよいと思う。ただ、重要なのは実施後の1サイクル8年程度の間、ヒメハルゼミがどのように出てくるかというのを注視していかなければならない。今後、また類似した案件は出てくると思われるので、取れる範囲のデータはとっておくべきかと思う。

事務局：事後の検証は非常に重要なことと認識している。

詳細なデータ収集は難しいと思うが、ヒメハルゼミの鳴き声が聞こえる範囲や大まかな数（多いか少ないか）は把握するようにしたい。

委員：シイ・カシならあまりないと思うが、切り口から腐ることがあるかもしれないので、切り口の保護を条件につけておいた方が安全かと思われる。

また、切った樹木の再生具合の観察も行った方がよい。

事務局：そのようにする。

委員：これまでの指摘を踏まえ、完了時期を7月より前とすること、切り口の保護を行うことを条件として、現状変更を可とする。

また、事務局の方で、実施後のヒメハルゼミや切った樹木の状況調査を行っていくこと。

## 2 協議事項

### (1) 史跡範囲の追加指定について【非公開】

## 3 報告事項

### (1) 市指定史跡岡崎城跡・市指定天然記念物五万石ふじへの看板設置について（岡崎城跡に係るサイン・案内板について）

市指定天然記念物五万石ふじの説明看板は、大型であったため、本来見せたいはずのふじを隠してしまっていた。そのため、既設看板を撤去し、それに代わる看板として、設置に際し史跡に影響を与えない据え置き型のものを設置することを報告した。

また、まちづくりデザイン課により、岡崎城跡内の統一したサイン計画を策定中であることを報告した。

### 【質疑応答】

委員：過去に作成されてきた案内板等は、それぞれ個別案件として作成を続けてきたため、デザインやイメージに統一感がない。岡崎城跡整備という大枠の中で、統一した方針のもと、こうした1つ1つの看板を作成して欲しい。

事務局：本件は先駆けて行っているが、現在、まちづくりデザイン課により岡崎城跡内のサイン計画を策定中であり、今後の案内板等の整備は、その計画に則って行っていく。

委員：板面の内容について、ふじに関する記述のみでなく、藤棚がある場所がかつての岡崎城郭のどのような部分であったかや、そこに藤棚が作られた経緯も併せて説明する内容であってほしいと思う。

事務局：これまでの看板は、ご指摘のとおり、公園緑地課による注意看板や観光課による案内板、社会教育課による文化財説明看板等、特に方針もなく、それぞれの

立場で作成してきた。それが、統一の方針のもとで作成されていくことになるのは大きな進歩かと思っている。

板面の表示内容として、かつての岡崎城郭のことについて触れるのか、また別のものを設けるかは慎重に検討させていただきたい。

(2) 岡崎城跡月見櫓の発掘調査について

岡崎城跡月見櫓の発掘調査の成果や、それに基づき、今後検討が必要な事項について説明、報告した。

(3) 岡崎城跡総構え発掘調査（中央緑道・豊川信用金庫跡地）の発掘調査について

岡崎城跡総構えの発掘調査の成果や、それに基づき、今後検討が必要な事項について説明、報告した。

4. その他

(1) 旧額田郡公会堂及物産陳列所保存活用計画について

旧額田郡公会堂及物産陳列所保存活用計画の概要の説明、今後行うパブリックコメントについて委員に連絡した。

(2) 次回以降の審議会開催について

次回審議会は平成30年2月に実施予定